

第29回リスニング英語検定試験実施結果

(基準日：令和5年10月13日)

はじめに

令和5年度 第29回リスニング英語検定試験の実施に際して、関係各方面の皆様方の多大なるご尽力に対して心底より感謝を申し上げます。

公益財団法人全国修学旅行研究協会の調査によると、2022年度、海外への修学旅行を実施した高等学校は、公立高等学校の10.8%（390校）、私立高等学校の37.7%（505校）にのぼり、いずれも前回の調査より増加しています。訪問国としては、台湾、グアム、シンガポール、マレーシア、ベトナム、北アメリカ、東南アジア、オーストラリアなどがあります。工業高校も例外ではなく、海外修学旅行を実施している学校があります。

さて、今や工業高校卒業生も、就職後に生産技術者として海外赴任をする事があたりまえとなっています。また、今後国内でも外国人労働者の益々の増加が予想され、グローバル社会を生きていくこれからの生徒には、異文化理解やコミュニケーション能力の育成が大切になります。本検定試験は、英語のリスニング力を測るものです。英語は世界中で使われる言語であり、ビジネスや学術など様々な場面で必要とされます。より良い英語力を身に付けることができるよう、本検定試験を積極的に活用していただきたいと思います。

今回1万7千人ほどの申込・受検を頂戴し、検定を実施できましたことは、次代の我が国の産業界を担うことのできる、工業科などを有する高等学校等で学ぶ生徒の自主的な成長に寄り添う貴重な教育活動となり、誠に有為であったと考えております。それでは、第29回リスニング英語検定試験の結果についてまとめましたので、ここに報告いたします。

リスニング英語検定委員会

## 第29回リスニング英語検定試験実施要項

1. 主 催 公益社団法人全国工業高等学校長協会
2. 目 的 国際社会に貢献できる人材の育成を目指し、基礎的・基本的な工業技術英語の表現や会話のリスニング能力を向上させることを目的とする。
3. 内容と程度 英会話におけるリスニング能力を試験するもので、次の3タイプの問題で構成している。(所要時間 30分前後)
- Part 1 英文の内容に合う絵を選ぶ問題 (10問)
  - Part 2 絵の内容に合う英文を選ぶ問題 (10問)
  - Part 3 英文や会話文を聴いて、質問に答える問題 (20問)
4. 基 準 日 **令和5年10月13日(金)**  
試 験 期 間 **令和5年10月13日(金)～10月21日(土)**  
※ 試験実施日を試験期間以外に定める時は、別紙の「検定試験の実施日の変更を希望する場合の処置について」に従い処置をしてください。  
※ 原則として、**試験実施日を基準日より早める時は、試験問題作成・送付の関係上、試験実施日を基準日の3日前迄に設定してください。**
5. 実施会場 受検を希望する学校
6. 受 検 資 格 在校生、及び会場校責任者が認めた者
7. 合 格 基 準 全て同一の問題で実施して、70点以上得点した者を合格者とし、得点により、90点以上を1級、80点以上を2級、70点以上を3級に認定する。
8. 検 定 料 950円(税込)
9. 検定実施手順 ※WEB上での「申込」・「報告」の詳細につきましては[「WEB入力手順」](#)をご確認ください。
- ①受 検 申 込 受検者を確定させ、**5月8日(月)から7月7日(金)**の間に、WEB上から申し込みをする。
- ※「願書・受検票」用紙を用意してありますので、必要な方は[ダウンロード](#)してご利用ください。
- ②検定料の納入 **7月14日(金)**までに以下の方法のいずれかで送金をする。
- ◎ **4月1日付けで学校長宛に送付した、第29回リスニング英語検定試験用の「払込取扱票(払込料金加入者負担<sup>\*1</sup>)」(赤色)**を用いての送金(この場合に関し、送金手数料を全工協会が負担する)
  - ※ **「払込取扱票(払込料金加入者負担)」(赤色)は、再発行することはできません。**

\*1 ゆうちょ銀行のサービス料金の新設・改定に伴い、赤色の郵便振替用紙を用いても、**現金でお支払いの場合は、加算料金や手数料がかかります。**この加算料金や手数料につきましては、**本協会ではご負担いたしかねます。**お支払いの際は、十分にご注意のほどお願いいたします。  
なお、本件に係る詳細につきましては、ゆうちょ銀行に直接お問い合わせください。

◎以下の郵便口座または銀行口座へ学校側が送金手数料を負担した上での送金  
(お送りした払込取扱票の紛失や追加して送金したい時はこちら)

口座名義 (各口座共通) : 公益社団法人全国工業高等学校長協会

郵便口座:00160-4-96148 / 銀行口座:りそな銀行 九段支店(普)134674

※郵便局に備え付けの青色の払込取扱票(払込料金払込者負担)を用いる際は  
通信欄に必ず検定名・学校番号を明記しておいてください。

※「ネットバンキング」や「ゆうちょダイレクトサービス」等を使用してお支払  
の際は、「学校名+検定名」(例:チヨダコウギョウコウコ リスニング)をご入力くださ  
いますようお願いいたします。

※納入いただいた検定料は、いかなる理由があっても返金できません。金額を  
誤って送金しないようご注意ください。

※金融機関発行の振込明細書をもって領収書に代えさせていただきます。

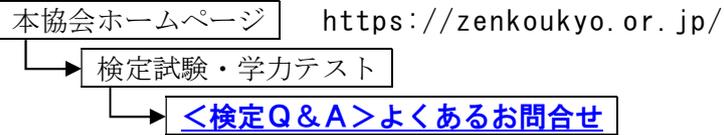
※検定料に係る見積書、請求書は発行しておりません。必要な場合は本実施要  
項をもって各帳票の代わりとしてください。

- ③検定の実施 試験問題が**実施日の1週間前を目途に送られてくる**ので、試験問題に同封の「リスニング英語検定試験実施細則」により厳正に実施する。
- ④採点 学校ごとに定める委員会で、別に定める解答により行う。
- ⑤合否決定 学校ごとに定める委員会で審査し、当該学校長が決定する。決定後、その結果は発表しても良い。  
但し、検定試験問題の漏洩予防のため試験実施後1ヶ月は問題用紙・解答用紙を受検者に返却してはならない。
- ⑥試験結果報告 **11月3日(金)**までに結果を集計し、WEB上から報告をする。  
※合格者がいなかった場合は、受検者数のみ入力してご報告ください。  
※合格者の名簿は、各学校で印刷し保管しておいてください。
- ⑦合格証書 合格者には12月初旬頃合格証書を交付する(合格証書の氏名・生年月日は**学校で記入する。合格証書印刷例**)。なお、認定日は試験結果報告期限日の**11月3日(金)**とする。  
※合格証書は、到着後、直ちに部数の確認をしてください(不備・不足の場合は必ず**1ヶ月以内**にご連絡ください)。  
※合格証書は速やかに記入・作成し、**必ず年度内に合格者に交付してください**(年度を越えて、合格証書の氏名や生年月日に誤りがあることが判明しても、再交付はできません)。

10. その他
- ◇ [教室掲示用の文書\(A4判\)](#)を同封してありますのでご利用ください。
  - ◇ 申し込みは、学科ごとではなく学校で一括してお申し込みください。
  - ◇ **問題用紙・問題CDは、到着後直ちに部数をご確認いただき、鍵のかかる金庫等で、漏洩等が無いよう試験開始直前まで厳重に管理してください。**
  - ◇ 問題CDについては、別紙「リスニング英語検定問題用CDの申込について」をよくご確認ください。
  - ◇ **検定試験実施後は問題・答案を速やかに回収し、実施日以降1ヶ月間は学校に保管するよう徹底してください。**
  - ◇ **実施結果**は全工協会WEBページに掲載いたします。

- ◇ スクリプトは実施結果に掲載いたします。
- ◇ 合格者は、「ジュニアマイスター顕彰制度」において合格級に応じた対象得点を取得することができます。なお、本検定は複数回の受検を認めていますが、ジュニアマイスターの得点は取得した最上位級のみとなります。

11. お問 合 せ 本協会WEBサイトの「<検定Q&A>よくあるお問合せ」をご確認ください。



※ 「<検定Q&A>よくあるお問合せ」を見ても解決できない場合は、お手数ですが、本協会ホームページ上部の「[お問い合わせフォーム](#)」からお問い合わせください。

リスニング英語検定試験担当：水 野 静 佳

T E L 03-3261-1500 F A X 03-3261-2635

E-mail mizuno@zenkoukyo.or.jp

## リスニング英語検定問題用CDの申込について（依頼）

このたび、リスニング英語検定実施に向けて準備を進めております。

ご承知のように、この検定は音声出力による出題ですので、受検者に良く聞こえるような機器（全校向け放送設備または教室単位CDプレーヤー等）を準備してください。

また、検定に使用する機器により必要とする検定用CDの枚数が異なってまいります。

つきましては、検定実施に際して使用される機器を考慮し、必要とする検定用CDの枚数（使用する機器毎に1枚の割合で算出願います）を、WEB上の受検申込用ページの所定欄に入力し、ご報告ください。

※ 問題CDは試験問題と一緒に送りいたします。

※ 届きましたら、直ちに正しく聴けるか（音飛び等ないか）どうかを確認してください。

※ もし、正しく再生されないようでしたら本協会の担当者までご連絡ください。

※ 確認後は、試験実施まで厳重に保管してください。

お問い合わせ

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

東京都千代田区飯田橋2-8-1

TEL 03-3261-1500

FAX 03-3261-2635

リスニング英語検定試験担当：水野 静佳

## 第29回リスニング英語検定試験の実施日の変更を 希望する場合の処置について

公益社団法人 全国工業高等学校長協会

令和5年度第29回リスニング英語検定試験の実施にあたり、基準日より9日間の試験期間内に実施日を指定できず試験期間外への変更を希望される学校は、別紙の「実施日変更届」のご提出をお願いいたします。

申すまでもなく、検定試験は厳正に施行して初めて価値があるものです。実施日を違えて実施した結果、万一問題の漏洩等が生じますと、検定試験の根幹に係わる事態ともなりかねません。今まで以上に厳重な試験管理をお願いいたします。

学校行事等の関係で異なる日時に検定試験の実施を希望される場合は、下記に従い手続きをお願いいたします。

### 記

1. 基準日及び試験期間内（10月13日～10月21日）に実施する場合。

※ WEB入力手順に従い、WEBページ上から報告してください。

2. 申し込みの際に入力した実施日に変更があった場合。

※ 受検申込の期限日までは、WEB入力手順に従い処置をしてください。

※ 受検申込の期限日後は、WEB上から変更できませんので、検定担当者までご連絡ください。

3. 基準日より1日でも早く実施する場合、及び9日間の試験期間より遅れて実施する場合。

※ 当該校の校長先生より別紙書式による「実施日変更届」を提出してください（捺印の必要があるため郵送してください）。

※ 原則として、**基準日より1日でも早く実施する場合は、試験問題作成・送付の関係上、試験実施日を基準日の3日前迄に設定するようにしてください。**

また、試験日を試験期間より遅れて実施する場合は、結果報告の締め切りに必ず間に合うように試験を実施するようにしてください。

● 近隣の学校が大幅に遅れて検定試験を実施する場合も考えられますので、試験問題等については、実施日以降1ヶ月間は学校に保管するよう徹底してください。

## 第29回リスニング英語検定試験実施日変更届

令和5年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 理事長 殿

学校番号 \_\_\_\_\_

学 校 名 \_\_\_\_\_ 高等学校

校 長 名 \_\_\_\_\_ 公印

このことについて、下記のように実施日を変更したいのでお届けいたします。  
なお、問題の漏洩予防等については十分に留意いたします。

### 記

#### 1. 実施日について

基準日 10月13日（金）から \_\_\_\_月\_\_\_\_日（\_\_\_\_）に変更する。

#### 2. 変更理由（簡潔に）

#### 3. 実施日の変更が自校生徒及び近隣校の生徒におよぼす影響の予想について

リスニング英語検定試験対応  
「工業英語BASIC BOOK (改訂版)」について (お知らせ)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。本協会の事業につきましては、日頃より深いご理解と温かいご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、リスニング英語検定試験対応「工業英語BASIC BOOK (改訂版)」についてご案内を申し上げます。生産現場でよく使われる基本用語・フレーズや、海外生活に必要な表現なども掲載し、実践的に工業英語を学べるよう工夫がなされています。また、付属CDには、全ページの英語が異なる速さで収録されており、第13章は実際の検定試験 Part 3 と同形式です。なお、本協会からの直接購入特典として、本協会主催リスニング英語検定試験問題過去5年分の音声をお聴きいただけます。検定試験対策に是非ご活用ください。

リスニング英語検定試験は、この「工業英語BASIC BOOK (改訂版)」を参考にして出題されますので、ご採用くださいますようご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 図書名等 工業英語 BASIC BOOK (改訂版)

販売元	公益社団法人 全国工業高等学校長協会	
販売価格	会員校価格：1,120円(税込)(※)	
形態	A5サイズ冊子+CD1枚	
CD収録内容	<b>第1章～13章全文を5タイプで収録。あらゆる学習進度に対応。</b>	
	<b>フォルダー名</b>	<b>収録内容</b>
	1_natural and slower	自然な速さの英語→遅めの英語→日本語の順
	2_natural	自然な速さの英語→日本語の順
	3_slower	遅めの英語→日本語の順
	4_all English	自然な速さの英語のみ
	5_challenge	第13章をリスニング英語検定試験 Part 3 の形式で収録
CD形式	データCD (MP3形式) MP3対応CDプレイヤー及びパソコン、タブレット等で再生	
注文方法	学校から本協会へ添付専用注文書をFAX (会員校価格で販売、返品不可) ※書店等を通じて注文する場合は、コロナ社が販売 (通常価格1,800円+税)	

以上

# 工業英語BASIC BOOK (改訂版)

## 【会員校専用注文書】

公益社団法人 全国工業高等学校長協会 宛

月 日

学校番号		学校名	
所在地	〒		
電話番号		担当者 所属・氏名	

下記のとおり注文します

希望があれば○をつける

納品書希望

書名	定価(税込)	注文数	合計
工業英語 BASIC BOOK (改訂版) CD (MP3 形式) 付	会員校価格 1,120 円	冊	円

\* 書店に注文する場合は通常価格 (1,800 円税抜) です。

### 《 注意 》

※ ご注文はFAXにてお願いいたします。

※ 返本は受け付けておりませんので、冊数に間違いが無いことを確認のうえご注文下さい。

※ この注文書にて学校から直接全工協会に問題集をお申し込みの場合、問題集送料は協会が負担いたします。

※ 代金の支払いは、協会から送付する赤色払込取扱票 (払込料金加入者負担 \*1) をお使い下さい。なお、銀行その他の方法による代金振込の手数料は注文者負担とさせていただきます。

**「振替払込請求書兼受領証」をもって領収書に代えさせていただきます。**

\*1 ゆうちょ銀行のサービス料金の新設・改定に伴い、赤色の郵便振替用紙を用いても、**現金でお支払いの場合は、加算料金や手数料がかかります。**この加算料金や手数料につきましては、**本協会ではご負担いたしかねます。**お支払いの際は、十分にご注意のほどお願いいたします。

なお、本件に係る詳細につきましては、ゆうちょ銀行に直接お問い合わせください。

※ 1回のご注文30冊につき1冊の献本となります。

※ 最新情報は本協会WEBページで随時更新しております。訂正がある場合は正誤表も掲載しておりますのでご確認ください。

FAX番号：03-3261-2635

# 令和5年度 第29回リスニング英語検定試験

1. 主催 公益社団法人 全国工業高等学校長協会

2. 実施日 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月\_\_\_\_\_日 (\_\_\_\_\_曜日)

3. 会場 本校

(日付・会場は各学校でご記入ください)

4. 検定内容 英会話におけるリスニング能力を試験するもので、次の3タイプの問題で構成している。

Part 1 英文の内容に合う絵を選ぶ問題 (10問)

Part 2 絵の内容に合う英文を選ぶ問題 (10問)

Part 3 英文や会話文を聞いて、質問に答える問題 (20問)

※試験時間は約30分です。

5. 検定料 950円 (税込)

6. 合格基準 全て同一の問題で実施して、70点以上得点した者を合格者とし、得点により、90点以上を1級、80点以上を2級、70点以上を3級に認定する。

7. 合格証書 合格者には合格証書を授与する。

8. 受検手続き 担当の先生に申込方法を確認し、指示に従う。

月  日までに

先生に申し込む。

主催者申込期限 7月7日

教室掲示用

# 第29回リスニング英語検定試験成績表

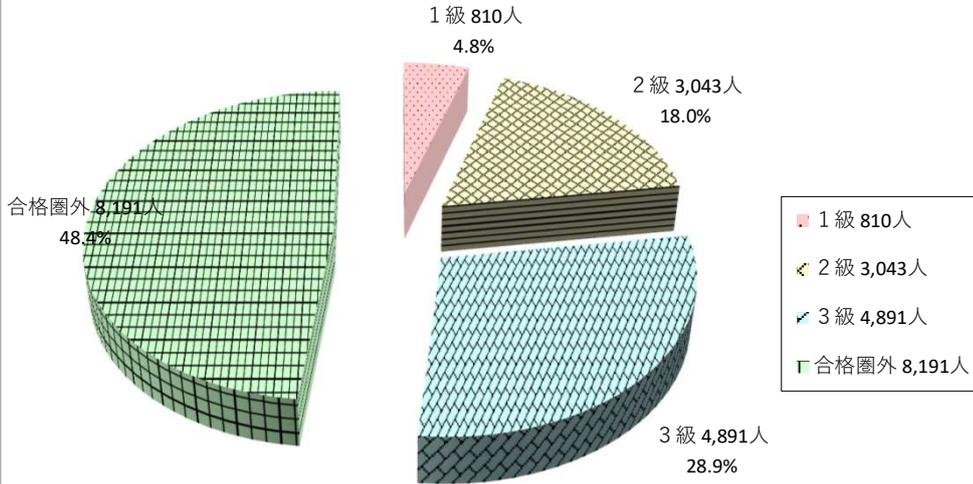
## 1. 実績データ

実施基準日 令和5年10月13日  
 申込者数 17,566名  
 受検者数 16,935名

## 2. 合格ラインと合格率

級	合格ライン	合格者数	合格率
1級	90点	810名	4.8%
2級	80点	3,043名	18.0%
3級	70点	4,891名	28.9%
合計		8,744名	51.6%

### 受検者の合格状況



### 年度別リスニング英語検定試験実績

回数	実施日	校数	申込者数	受検者数	合格者数 1級	合格者数 2級	合格者数 3級	合格者数 合計	合格率
施行	H06.06.07	98		22,524	1,159	2,368	9,992	13,519	60.0%
第01回	H07.05.20	96	10,846	10,673	18	87	2,138	2,243	21.0%
第02回	H08.05.18	92	8,782	8,641	181	709	4,355	5,245	60.7%
第03回	H09.10.04	107	9,498	9,082	468	1,237	5,173	6,878	75.7%
第04回	H10.10.03	97	8,920	8,550	244	892	5,277	6,413	75.0%
第05回	H11.10.02	100	8,955	8,552	18	111	2,537	2,666	31.2%
第06回	H12.10.07	91	7,847	7,435	155	789	4,182	5,126	68.9%
第07回	H13.10.06	86	7,889	7,457	32	281	3,709	4,022	53.9%
第08回	H14.10.05	88	7,507	7,213	51	298	2,921	3,270	45.3%
第09回	H15.10.04	90	7,799	7,599	10	50	2,347	2,407	31.7%
第10回	H16.10.02	83	6,909	6,587	466	2,127	2,254	4,847	73.6%
第11回	H17.09.30	79	7,724	7,449	77	824	2,267	3,168	42.5%
第12回	H18.10.06	89	8,649	8,396	282	1,275	2,408	3,965	47.2%
第13回	H19.10.05	103	10,677	10,379	355	2,075	3,280	5,710	55.0%
第14回	H20.10.10	102	11,319	11,032	66	570	2,350	2,986	27.1%
第15回	H21.10.09	114	12,459	12,070	489	2,812	4,804	8,105	67.1%
第16回	H22.10.08	127	13,857	13,562	164	1,376	3,835	5,375	39.6%
第17回	H23.10.14	129	15,271	14,935	602	3,616	5,371	9,589	64.2%
第18回	H24.10.12	152	19,205	18,904	4,945	6,747	4,042	15,734	83.2%
第19回	H25.10.11	171	22,774	21,228	238	1,986	6,053	8,277	39.0%
第20回	H26.10.10	176	24,905	24,526	1,156	5,578	7,950	14,684	59.9%
第21回	H27.10.09	185	25,688	25,252	126	1,244	5,221	6,591	26.1%
第22回	H28.10.14	182	24,415	23,958	657	4,677	8,605	13,939	58.2%
第23回	H29.10.13	198	23,856	23,486	1,240	6,930	8,065	16,235	69.1%
第24回	H30.10.12	190	22,416	22,047	221	1,640	4,588	6,449	29.3%
第25回	R01.10.11	178	20,801	20,408	1,463	4,734	5,552	11,749	57.6%
第26回	R02.10.09	177	19,778	19,390	384	2,017	4,960	7,361	38.0%
第27回	R03.10.08	176	19,056	18,486	1,485	4,921	5,740	12,146	65.7%
第28回	R04.10.14	172	17,754	17,235	863	4,357	6,024	11,244	65.2%

## 第29回リスニング英語検定試験成績表

都道府県	学校数	申込者数	受検者数	合格者数 1級	合格者数 2級	合格者数 3級	合格者数 合計	合格率
北海道	5	534	520	47	118	183	348	66.9%
青森	7	339	331	21	80	95	196	59.2%
岩手	7	403	400	7	47	107	161	40.3%
宮城	2	44	41	3	8	20	31	75.6%
秋田	6	642	637	7	71	193	271	42.5%
山形	4	185	180	2	20	38	60	33.3%
福島	6	944	910	53	182	297	532	58.5%
茨城	8	944	928	54	165	261	480	51.7%
栃木	2	141	134	2	14	35	51	38.1%
群馬	2	236	226	41	96	53	190	84.1%
埼玉	3	67	65	5	29	16	50	76.9%
千葉	1	5	5	1	2	2	5	100.0%
東京	4	224	216	13	26	52	91	42.1%
神奈川	—	—	—	—	—	—	—	—
山梨	1	24	22	3	4	9	16	72.7%
新潟	1	14	14	0	1	1	2	14.3%
長野	1	41	41	7	15	15	37	90.2%
富山	2	395	387	20	91	112	223	57.6%
石川	1	110	110	1	28	40	69	62.7%
福井	1	130	125	5	19	35	59	47.2%
静岡	2	66	47	5	9	10	24	51.1%
愛知	21	1,977	1,917	131	419	545	1,095	57.1%
岐阜	5	192	187	8	48	51	107	57.2%
三重	2	103	99	5	17	36	58	58.6%
滋賀	2	81	81	3	17	25	45	55.6%
京都	3	116	113	2	23	35	60	53.1%
大阪	5	44	32	3	9	8	20	62.5%
兵庫	8	944	904	28	168	303	499	55.2%
奈良	1	11	11	0	4	3	7	63.6%
和歌山	2	5	5	1	1	2	4	80.0%
鳥取	2	83	81	2	20	29	51	63.0%
島根	4	59	59	3	11	22	36	61.0%
岡山	6	900	888	46	175	293	514	57.9%
広島	5	994	964	17	64	218	299	31.0%
山口	4	353	350	8	76	113	197	56.3%
徳島	2	17	17	0	11	3	14	82.4%
香川	2	82	75	5	14	14	33	44.0%
愛媛	4	82	74	1	26	28	55	74.3%
高知	1	70	69	2	17	29	48	69.6%
福岡	7	1,403	1,245	35	186	356	577	46.3%
佐賀	1	149	149	0	6	17	23	15.4%
長崎	6	1,005	980	70	202	279	551	56.2%
熊本	10	1,957	1,895	60	260	488	808	42.6%
大分	1	43	42	0	4	21	25	59.5%
宮崎	2	115	113	11	30	38	79	69.9%
鹿児島	10	1,293	1,246	72	210	361	643	51.6%
沖縄	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	182	17,566	16,935	810	3,043	4,891	8,744	51.6%

おわりに

第 29 回リスニング英語検定試験は、参加校数 182 校、受検者数 16,935 名となりました。参加校は増加しましたが、受検者数は減少してしまいました。

本委員会では合格率を 1 級 5%、2 級 20%、3 級 35%、合計 60% を目途に問題を作成しており、合格基準は 1 級 90 点、2 級 80 点、3 級 70 点としています。

下表 1 に今回の概況を示します。

表 1 第 29 回リスニング英語検定の合格者数と合格率

検定級種と度数	1 級	2 級	3 級	全級
合格者数 [人]	810	3043	4891	9744
合格率 [%]	4.9	18.0	28.9	51.6

今回は、本委員会が目処とした合格率をいずれの級においても満たすことができませんでした。

手元にある資料を基に考察を行います。対象が全数ではなく、サンプル抽出した解答例であることから、全受検者の傾向を如実に表すものではないことをご了承いただき、参考データとしてご覧ください。

パートごとの正答率を右表に示します。

パート [P]	P 1	P 2	P 3
正答率 [%]	56	72	70

Part 1 で得点を取りにくかったようです。

それでは、比較的正確率の低かった問題について考察します。

Part 1 について、問 6 と問 10 の正確率が低い傾向にありました。特に問 10 の正確率は 17% と際だって低い値となりました。

問 6 は例年正確率が悪い傾向にある問題です。方角を聞き取ることが難しいためだと思います。

問 10 は 1 級相当を想定して作問している、今年からの新問題です。「平行な辺がないのはどれか？」という問いは難しかったと思います。

Part 2 の問 6 はグラフを見ながら値を読み取る問題です。情報量が多く、聞き取りにくくなっています。

Part 3 の問 5 は、本文を聞き移動にかかった時間を計算する問題です。何時に出発して何時に到着したか聞き取ってから何時間かかったという計算をしなければなりません。そのため正確率が低かったようです。

最後となりましたが、令和 5 年度 第 29 回リスニング英語検定試験が、皆様の御支援により終了しましたことに御礼を申しあげるとともに、本検定が工業科で学ぶ生徒たちにとって、一層、有意義な学びの機会となりますよう精進してまいりますことから、今後とも積極的にご活用くださいますようお願い致します。

リスニング英語検定委員会

## 第29回リスニング英語検定試験

実施細則・試験問題・スクリプト・解答

## 第29回リスニング英語検定試験実施細則

1. 主催 公益社団法人全国工業高等学校長協会
2. 趣旨 国際社会に貢献できる人材の育成を目指し、基礎的・基本的な工業技術英語の表現や会話のリスニング能力を向上させることを目的とする。
3. 基準日 令和5年10月13日（金） 試験時間約30分  
試験期間 令和5年10月13日（金）～10月21日（土）  
試験実施日を基準日以外に定める時は、案内文書に同封した「検定試験の実施日の変更を希望する場合の処置について」に従い処理をすること。
4. 採点 学校ごとに定める委員会で、別に定める解答により行う。
5. 合格の基準 70点以上得点した者を合格として、90点以上を1級、80点以上を2級、70点以上を3級に認定する。  
採点上の注意 **2回以上採点を確認すること。**
6. 合格の決定 学校ごとに定める委員会で審査し、当核学校長が合否を決定する。決定後結果を発表しても良い（問題・答案の返却は1ヵ月後を目途として行う）。
7. 合格証書交付 合格者には合格証書を交付する。実施校は別に定める**各種検定試験WEB入力手順に従い令和5年11月3日（金）までにWEB上で報告すること**。これにより、12月初旬頃主催者から合格証書が実施校へ送付されてくる。  
(参考に、**本検定用の「WEB報告の概略」**を同封しております。)
8. 合格証書の記入 合格証書の氏名・生年月日は、学校が記入すること。合格証書認定年月日、実施回数については記入してある。
9. 試験問題の処理 **試験問題の漏洩を防ぐため、問題・答案の返却は1ヵ月後を目途として行うこと。**
10. 試験実施上の注意 ① 試験問題は表紙を上にして配付すること。  
② 試験開始から終了まで全て問題CDの放送によって指示される。  
③ 解答は問題用紙に記入させても、直接解答用紙に記入させてもどちらでもよいものとする。尚、問題用紙に記入させた場合は、試験終了直後に、解答用紙に書き写す時間を与えること。  
**※ ③は、CDの放送による指示は特にないので、どちらにするのかを必ず試験開始前に受検者全員へ伝えておくこと。**
11. その他 不明の点は下記にお問い合わせください。  
公益社団法人 全国工業高等学校長協会  
TEL 03-3261-1500  
FAX 03-3261-2635  
E-mail mizuno@zenkoukyo.or.jp  
リスニング英語検定担当 水野静佳

## 第29回

# リスニング英語検定試験問題

## (問題・解答用紙)

### 注 意 事 項

1. 解答はすべてCDの指示にしたがって行ってください。試験時間はおよそ30分です。途中休憩はありません。
2. 問題用紙と解答用紙は別になっています。
3. 問題はPart1、Part2、Part3に分かれており、Part1、Part2には各10問、Part3には20問あります。
4. 印刷不鮮明のところ以外は、CDの内容、問題についての質問はできません。
5. 問題用紙、解答用紙の決められた欄に、科・学年・組・受検番号・氏名を記入してください。
6. 問題用紙、解答用紙の両方とも提出してください。

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

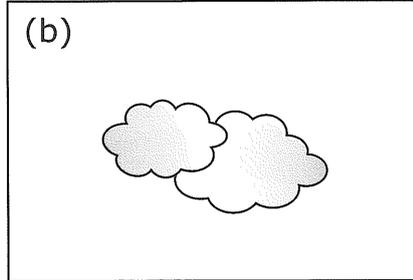
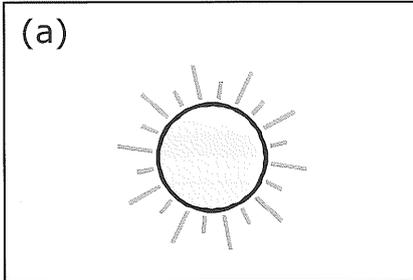
公益社団法人 全国工業高等学校長協会

# Part 1

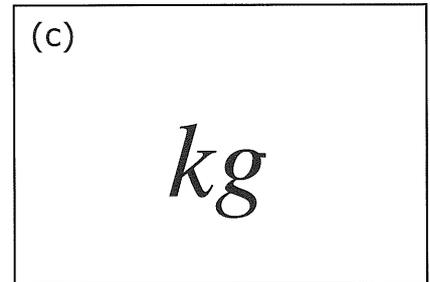
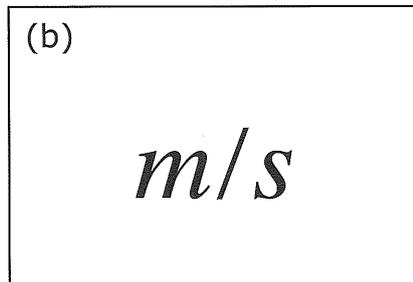
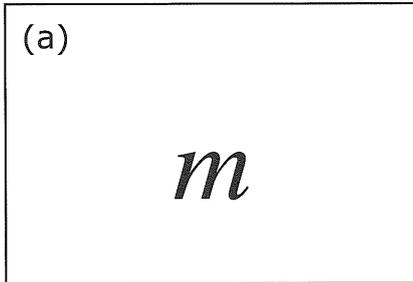
Part 1 は、英文の内容に合う絵を選ぶ問題です。  
問題は全部で10問あります。  
問題番号の後に、短い英文が少し間をおいて、続けて2回読めます。  
問題番号のところに、3つの絵が印刷されていますので、英文の内容に合う  
と思う絵の記号を1つだけ○で囲んでください。  
それでは始めます。

## Part 1 の問題

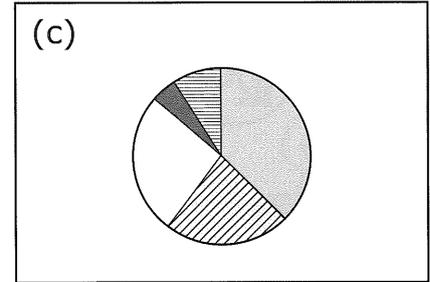
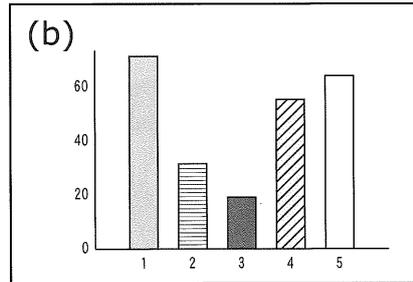
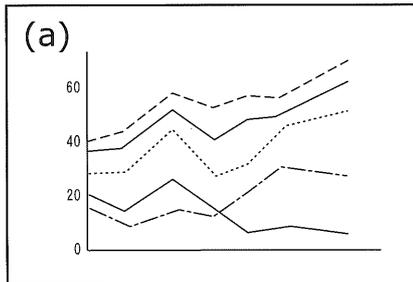
1.



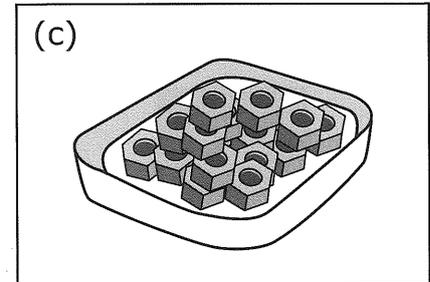
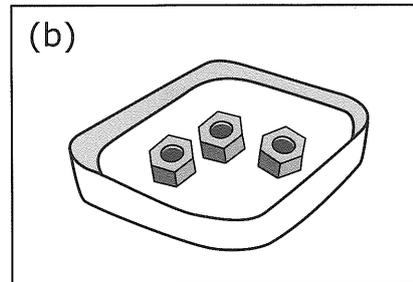
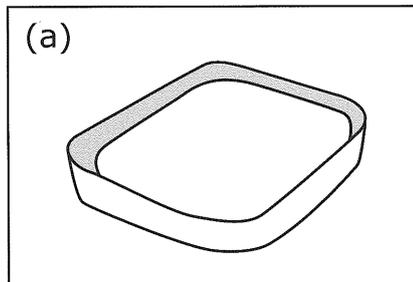
2.



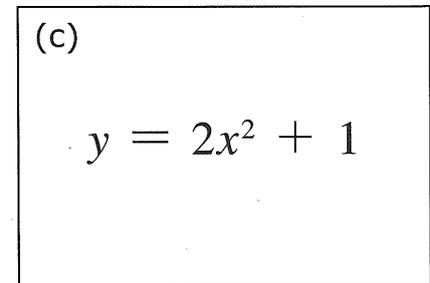
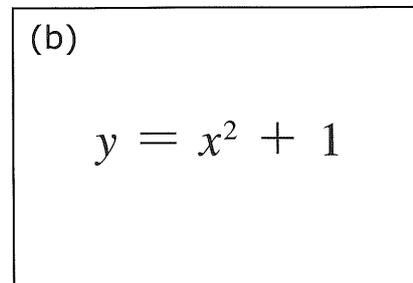
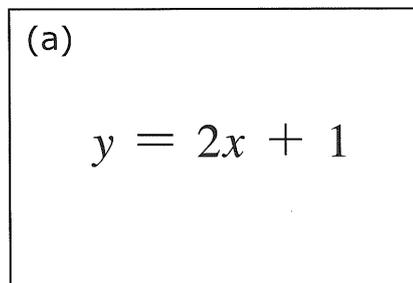
3.



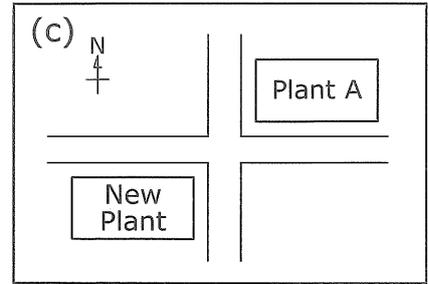
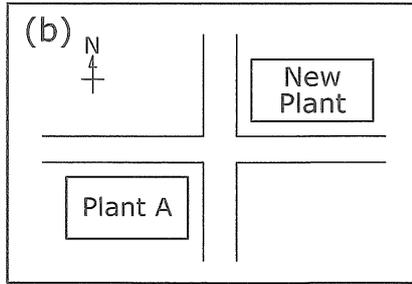
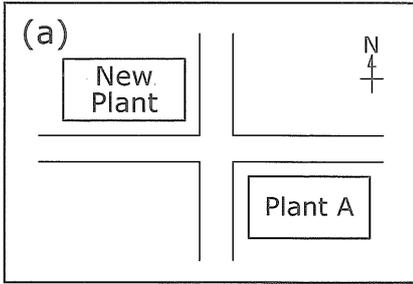
4.



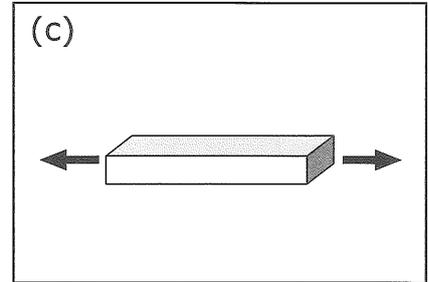
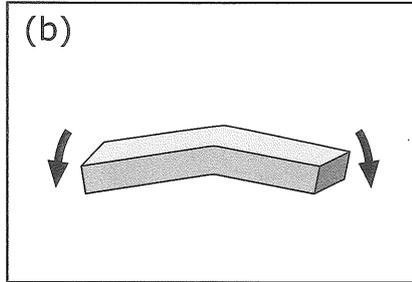
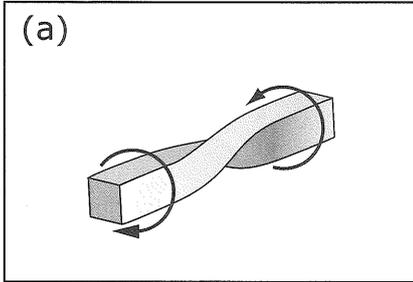
5.



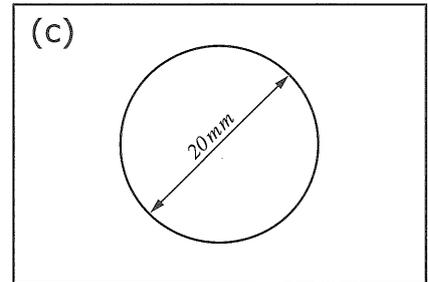
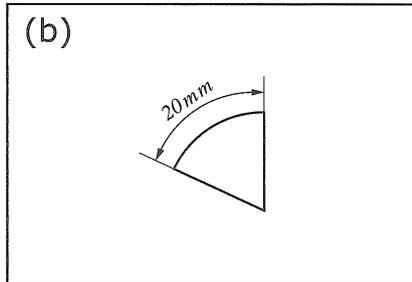
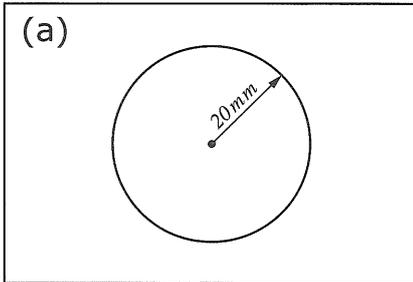
6.



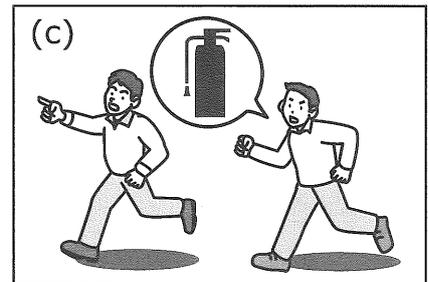
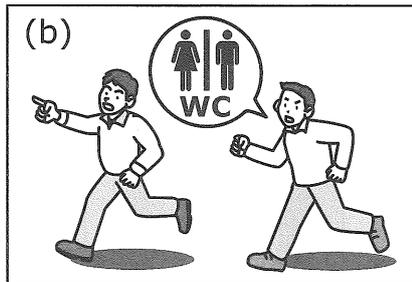
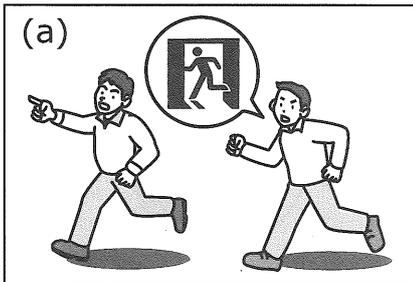
7.



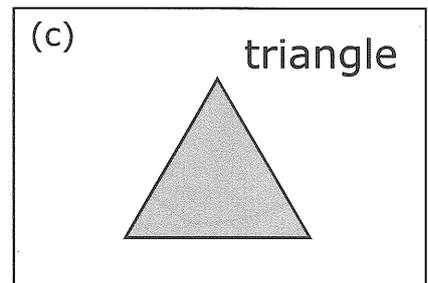
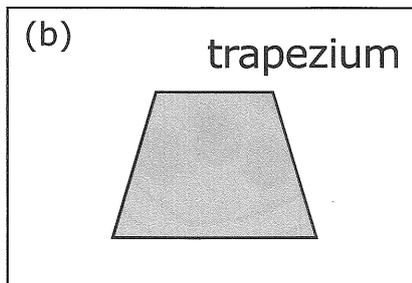
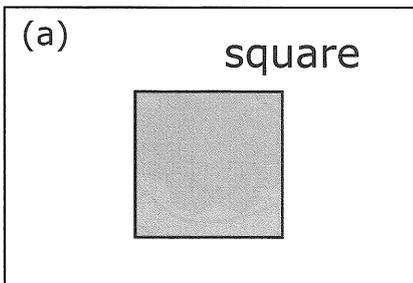
8.



9.



10.



以上で、**Part 1** を終わります。

# Part 2

Part 2 は、絵の内容に合う英文を選ぶ問題です。

問題は全部で10問あります。

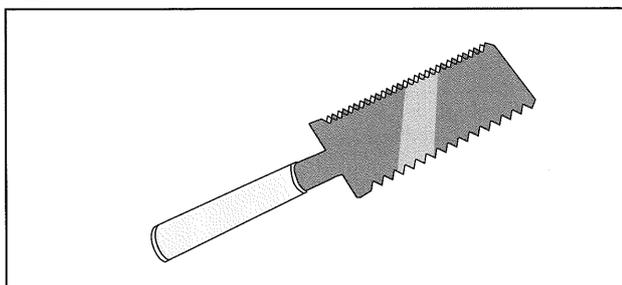
問題番号の後に、(a)、(b)、(c)の3つの英文が少し間をおいて、2回読まれます。(a)、(b)、(c)、(a)、(b)、(c)の順

問題番号のところに、(a)、(b)、(c)の記号が印刷されていますので、絵の内容に合うと思う記号を1つだけ○で囲んで下さい。

それでは始めます。

## Part 2 の問題

1.

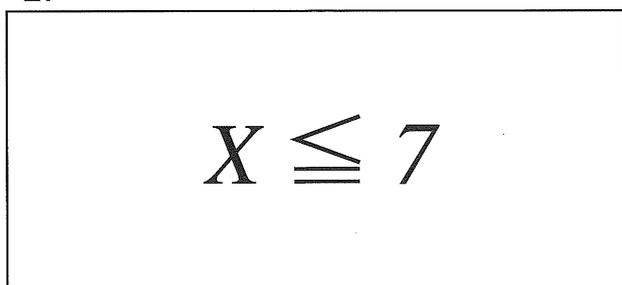


(a)

(b)

(c)

2.

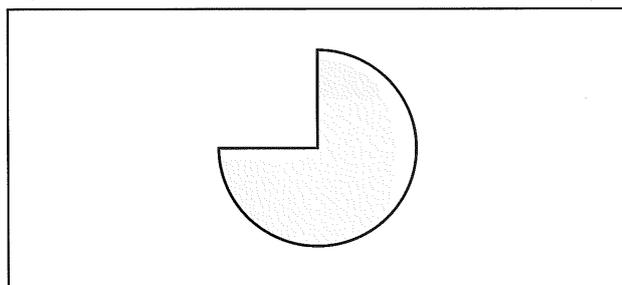


(a)

(b)

(c)

3.

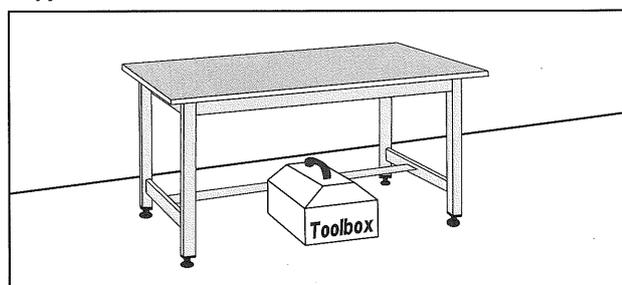


(a)

(b)

(c)

4.

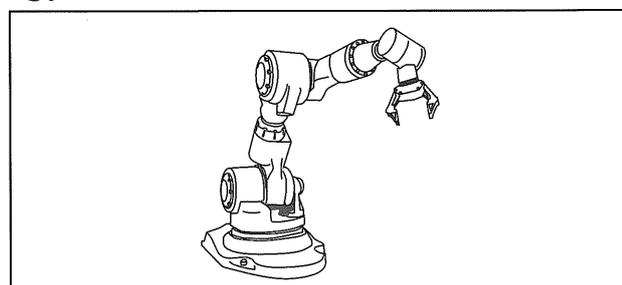


(a)

(b)

(c)

5.

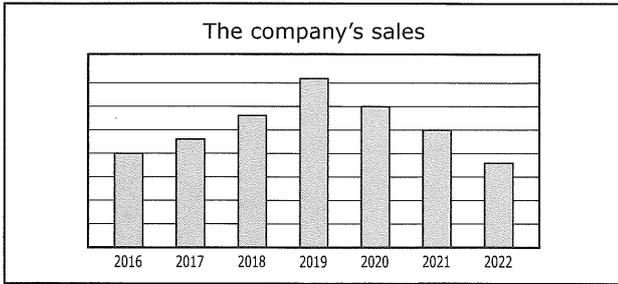


(a)

(b)

(c)

6.

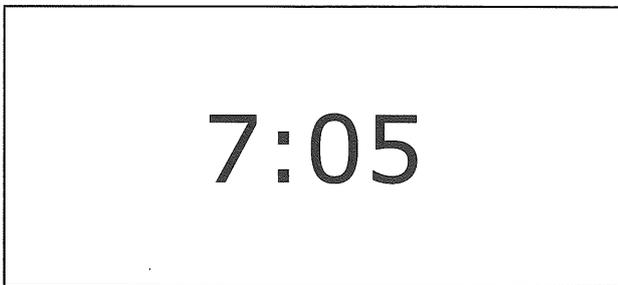


(a)

(b)

(c)

7.

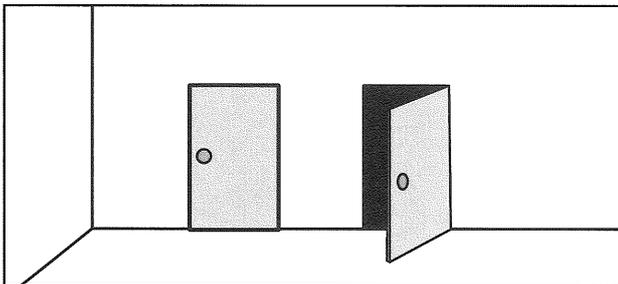


(a)

(b)

(c)

8.

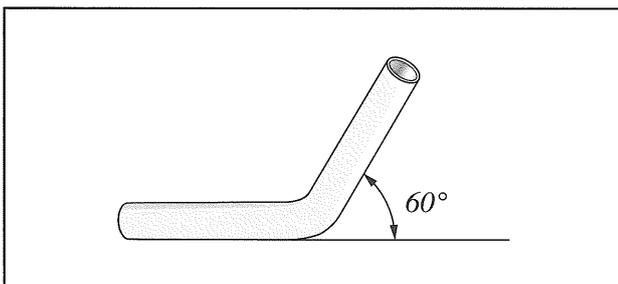


(a)

(b)

(c)

9.



(a)

(b)

(c)

10.



(a)

(b)

(c)

以上で、**Part 2** を終わります。

# Part 3

Part 3 は、英文を聞いて、質問に答える問題です。

A～Jまでの10の場面があります。1つの場面についての質問は2つずつです。

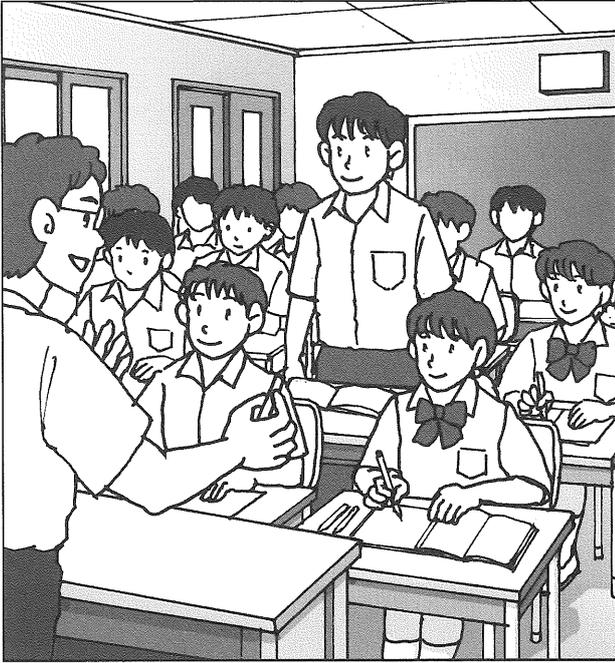
それぞれ2回読まれます。(英文、質問、英文、質問の順)

質問の答えとして、(a)、(b)、(c)の3つが印刷されていますので、正しいと思うものを1つだけ選んで、その記号を○で囲んでください。

それでは始めます。

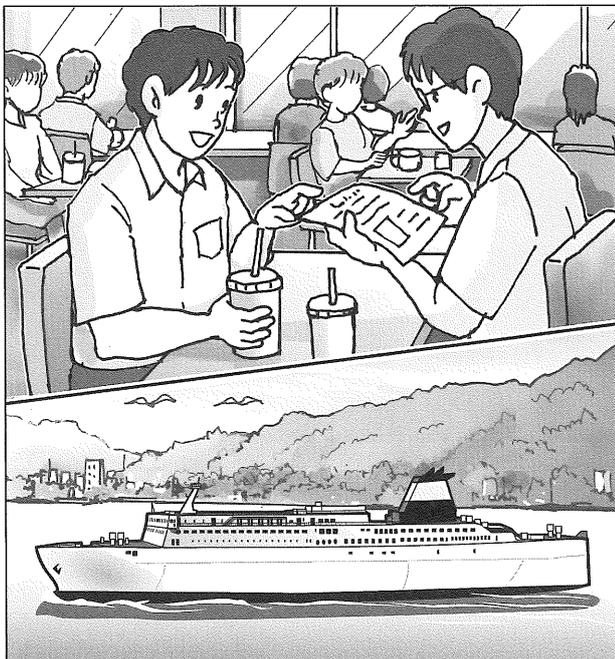
## Part 3 の問題

A



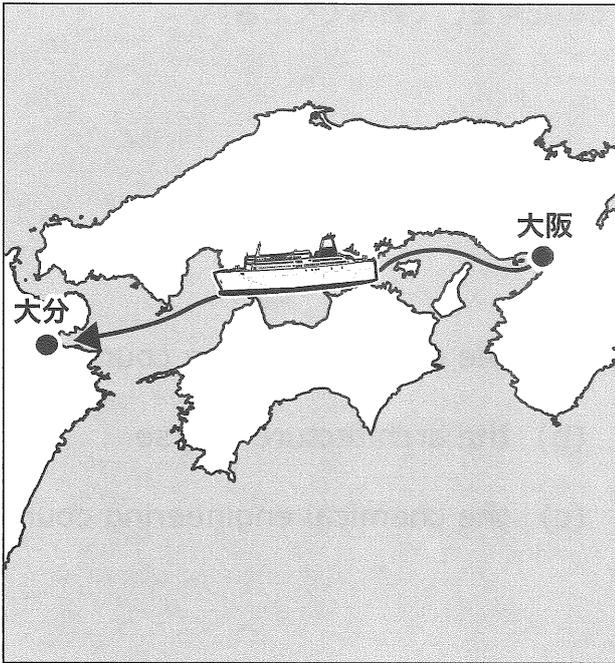
1. (a) the civil engineering course  
(b) the architecture course  
(c) the chemical engineering course
2. (a) cycling  
(b) mount climbing  
(c) cooking

B



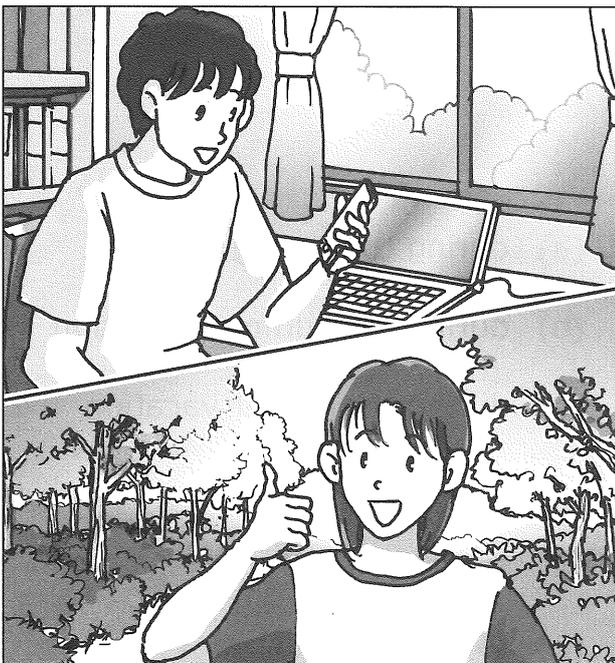
3. (a) during the spring vacation  
(b) during the summer vacation  
(c) during the winter vacation
4. (a) to Hokkaido  
(b) to Shikoku  
(c) to Kyushu

C



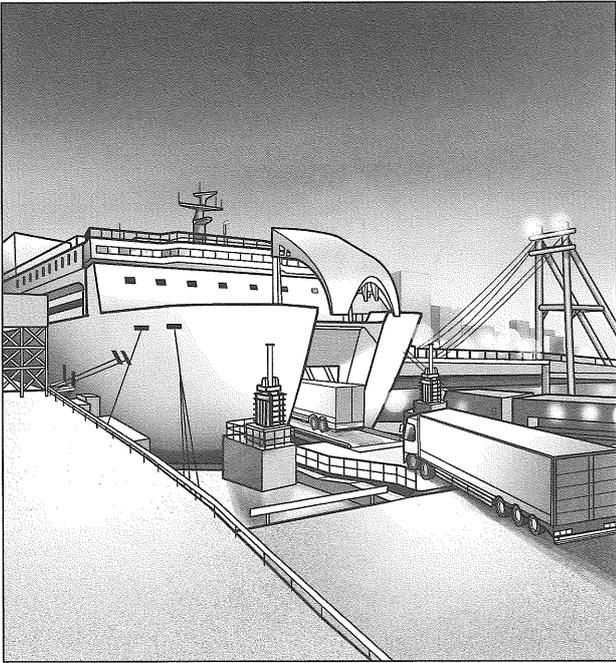
5. (a) seven hours  
(b) twelve hours  
(c) twenty four hours
6. (a) at a campsite  
(b) at an internet cafe  
(c) at a business hotel

D



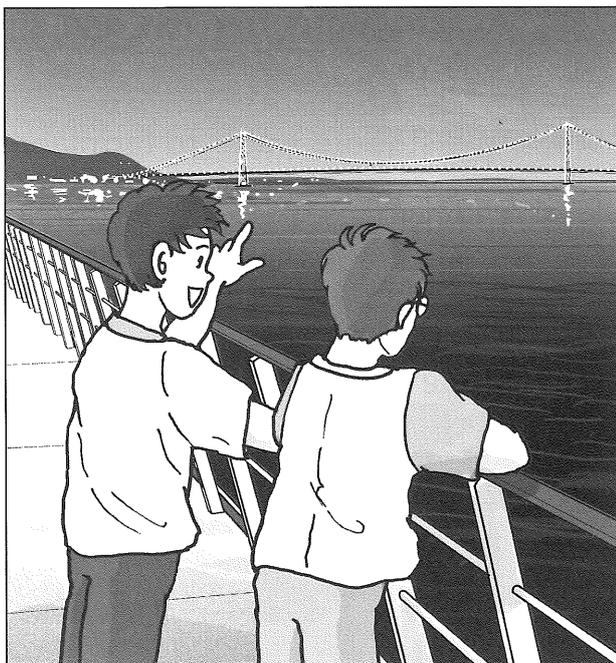
7. (a) this year  
(b) last year  
(c) two years ago
8. (a) by telephone  
(b) through social media  
(c) by letter

E



9. (a) buses  
(b) trucks  
(c) trains
10. (a) because the ferry was already at the ferry terminal  
(b) because the trucks were already being loaded  
(c) because the ferry was much bigger than they had imagined

F



11. (a) liquefied natural gas  
(b) liquefied petroleum gas  
(c) heavy oil
12. (a) a restaurant  
(b) a large public bath  
(c) a theater

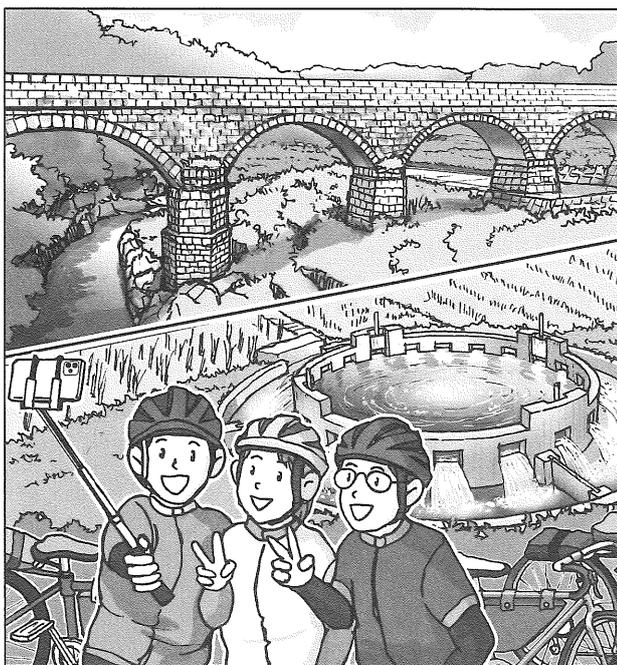
G



13. (a) keep hydrated  
(b) take pictures  
(c) ride their bikes

14. (a) 7 km  
(b) 17 km  
(c) 70 km

H



15. (a) to carry water to rivers and valleys  
(b) to distribute water to farmlands  
(c) to flush water swiftly

16. (a) stone  
(b) wood  
(c) metal

I



17. (a) once  
(b) twice  
(c) three times
18. (a) because they are so tired  
(b) because they have to go to school the following day  
(c) because they have to go to school the day after the following day

J



19. (a) Tetsuya and Takumi  
(b) Tetsuya and Keiko  
(c) Takumi and Keiko
20. (a) enjoyed chatting  
(b) called Keiko  
(c) fell asleep

以上で、リスニング英語検定を終わります。問題用紙と解答用紙を両方とも提出してください。

第29回

リスニング英語検定解答用紙

[解答方法]：各問題の a、b、c のうち、一つだけ選んで○で囲んでください。  
 ※太枠内には記入しないでください。

Part 1 (各 2 点)		Part 2 (各 2 点)		Part 3 (各 3 点)	
問題番号	解答欄	問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	a b c	1	a b c	1	a b c
2	a b c	2	a b c	2	a b c
3	a b c	3	a b c	3	a b c
4	a b c	4	a b c	4	a b c
5	a b c	5	a b c	5	a b c
6	a b c	6	a b c	6	a b c
7	a b c	7	a b c	7	a b c
8	a b c	8	a b c	8	a b c
9	a b c	9	a b c	9	a b c
10	a b c	10	a b c	10	a b c
<b>Part 1</b> 得点		<b>Part 2</b> 得点		11	a b c
				12	a b c
				13	a b c
				14	a b c
				15	a b c
				16	a b c
				17	a b c
				18	a b c
				19	a b c
				20	a b c
				<b>Part 3</b> 得点	

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

得点		合否及び合格の級	合否	級
----	--	----------	----	---

Part One

No. 1

It's sunny today, so we'll go out.

No. 2

This is a unit of speed.

No. 3

This is a pie chart.

No. 4

There are a few nuts in the tray.

No. 5

Y equals X squared plus one.

No. 6

We will build a new plant to the northeast of Plant A.

No. 7

This action is pulling.

No. 8

The radius of this circle is 20 mm.

No. 9

Where is the emergency exit?

No. 10

This figure doesn't have parallel sides.

## Part Two

No. 1

- (a) Use this tool when you cut wood.
- (b) Use this tool when you loosen nuts.
- (c) Use this tool when you turn screws.

No. 2

- (a) X is greater than or equal to Seven.
- (b) X is less than or equal to Seven.
- (c) X is equal to Seven.

No. 3

- (a) This is three-quarters of a circle.
- (b) This is half of a circle.
- (c) This is a quarter of a circle.

No. 4

- (a) The toolbox is on the desk.
- (b) The toolbox is next to the desk.
- (c) The toolbox is under the desk.

No. 5

- (a) Industrial robots do the hard work.
- (b) Animal robots do the hard work.
- (c) Workers do the hard work.

No. 6

- (a) The company recorded its highest sales in 2018.
- (b) Sales in 2019 are lower than sales in 2017.
- (c) Sales started declining from 2020.

No. 7

- (a) It's seven fifty.
- (b) It's five past seven.
- (c) It's five to seven.

No. 8

- (a) The right-side door is open.
- (b) Both doors are open.
- (c) The left-side door is open.

No. 9

- (a) Please bend the pipe to a right angle.
- (b) Please bend the pipe 60 degrees.
- (c) Please heat the pipe to 60 degrees Celsius.

No. 10

- (a) Put on gloves.
- (b) Put on safety glasses.
- (c) Put on a face shield.

## Part Three

A

Tetsuya is a second grade student who is in the architecture course at a technical high school in Shiga Prefecture. He likes going cycling with his road bike. One time he cycled around Lake Biwa in one day, by himself.

Question 1: What course is Tetsuya in?

Question 2: What does Tetsuya like to do?

B

Tetsuya planned to go on a trip with his friend Takumi during the summer vacation. Takumi is in the same grade as Tetsuya. They had visited Hokkaido by bike and train before.

Tetsuya: I've been interested in civil engineering heritage sites for a long time, so why don't we go visit

Takumi: Sounds great! Let's cycle around Kyushu! Why don't we go to Kyushu by ferry?

Question 3: When are they going to go on a trip?

Question 4: Where are they going to go on this trip?

## C

Tetsuya and Takumi looked for information on how to go to Kyushu by ferry. There seemed to be several ferries from Osaka to Oita. They booked a ferry on the internet which would leave Osaka at 7 p.m. and arrive in Oita at 7 a.m. the next day. They decided to put up tents at a campsite and stay there overnight.

Question 5: How long will the ferry ride take?

Question 6: Where are they going to stay?

## D

Tetsuya also wanted Keiko to come along and visit the civil engineering heritage sites. Keiko is Tetsuya's friend. She had moved to Oita two years ago. Tetsuya contacted Keiko on social media. She quickly answered Tetsuya, saying, "Yes, let's! I'll show you around! I'm looking forward to it." Tetsuya was happy.

Question 7: When did Keiko move to Oita?

Question 8: How did Tetsuya contact Keiko?

## E

On the day they started the trip, Tetsuya and Takumi put their bikes in special bags, got on an express bus, and headed to a ferry terminal in Osaka. When they got there, the ferry was already there and trucks had already started boarding. It was the first journey by ship for them. Both of them were really surprised to find the ferry much bigger than they had imagined. They showed their web tickets and finished checking in.

Question 9: What had already started boarding on the ferry?

Question 10: Why were they surprised?

## F

The ferry they got on board began service this year. Liquefied natural gas was used for its fuel. The inside was very clean and it had fantastic facilities such as a nice restaurant and a large public bath. They went out on the deck and saw the view from the departing ferry. About one hour after leaving the port, they passed under one of the world's biggest suspension bridges, 'Akashikaikyo Ohashi'. The ferry kept traveling through Setonaikai throughout the night.

Question 11: What kind of fuel was used for the ferry?

Question 12: Which was NOT a facility of the ferry?

## G

The ferry arrived in Oita at 7 a.m. as scheduled. Keiko was there to pick them up.

Keiko: It's been a while since I've seen you guys! Welcome to Oita!

Tetsuya: Wow! You've got a nice bike! Now, we're going to assemble our bikes!

Keiko: The weather is sunny and perfect but it's going to be hot.  
We should keep ourselves hydrated!

The three of them rode their bikes to their destination: the civil engineering heritage sites "Suirokyou" and "Entoubunsui". It is about 70 km to this destination and it takes 4 hours to get there.

Question 13: What did Keiko say they should remember?

Question 14: How far is it to this destination?

## H

They arrived thirty minutes earlier than scheduled. Suirokyou is a bridge that carries water to rivers and valleys, and Entoubunsui is a structure that distributes water to farmlands. Both of them are made of stone, and the water in them flows swiftly around this time of year. Tetsuya was moved to see the civil engineering heritage sites, which were full of the wisdom of their ancestors, so closely with his own eyes.

Question 15: What is the role of Entoubunsui?

Question 16: What are the civil engineering heritage sites they visited made of?

## I

They set up their tents and talked about various things while eating at the camp.

Keiko: What is your plan for tomorrow?

Tetsuya: We're catching a train at Oita Station at 2 p.m. On the way back home we'll change trains at Kokura Station and then at Himeji Station.

Keiko: Ok, then, shall we leave here around 9 a.m.? I'll see you guys off at Oita Station!

Tetsuya: Thanks. We had hoped to stay longer in Oita, but we have to go to school the day after tomorrow. So, we should get back home by tomorrow.

Question 17: How many times do they have to change trains?

Question 18: Why do they have to get back home by tomorrow?

## J

The next day, they left the campsite and arrived at Oita Station safely. Tetsuya and Takumi said goodbye to Keiko, put their bikes into their bags and headed home. Keiko went home by bike. On the train to Kokura Station, Tetsuya and Takumi fell asleep. A call from Keiko woke them up and they were able to change trains smoothly. This became the sweetest memory for them all.

Question 19: Who got on the train?

Question 20: What did Tetsuya and Takumi do on the train to Kokura Station?

第29回

リスニング英語検定解答用紙

[解答方法]：各問題の a、b、c のうち、一つだけ選んで○で囲んでください。  
 ※太枠内には記入しないでください。

Part 1 (各2点)		Part 2 (各2点)		Part 3 (各3点)	
問題番号	解答欄	問題番号	解答欄	問題番号	解答欄
1	a b c	1	a b c	1	a b c
2	a b c	2	a b c	2	a b c
3	a b c	3	a b c	3	a b c
4	a b c	4	a b c	4	a b c
5	a b c	5	a b c	5	a b c
6	a b c	6	a b c	6	a b c
7	a b c	7	a b c	7	a b c
8	a b c	8	a b c	8	a b c
9	a b c	9	a b c	9	a b c
10	a b c	10	a b c	10	a b c
<b>Part 1</b> 得点		<b>Part 2</b> 得点		11	a b c
				12	a b c
				13	a b c
				14	a b c
				15	a b c
				16	a b c
				17	a b c
				18	a b c
				19	a b c
				20	a b c
				<b>Part 3</b> 得点	

科		学年・組		受検番号		氏名	
---	--	------	--	------	--	----	--

得点		合否及び合格の級	合否	級
----	--	----------	----	---